

厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）  
分担研究報告書

心理職の役割の明確化と育成に関する研究（H26-特別-指定-011）

〔分担研究課題〕教育・福祉・医療(看護)の学部における心理学のカリキュラム  
についての基礎的調査

分担研究者 増田健太郎（九州大学大学院人間環境学研究院/ 教授）

研究要旨

臨床心理技術職の国家資格化に当たって、教育系・医療系（看護師）・福祉系の学部において、悉皆で調査を行った。820 学部の内、759 学部の心理学のカリキュラムの分析を行った。また、保健師養成系においては、地方別無作為抽出法で、国立大学 12 校・私立 15 校の調査を行った。参考のためにアメリカ 1 校・オーストラリア 2 校の心理学部のカリキュラムの調査を行った。心理学系の科目においては、基礎心理学(心理学入門・統計法等)・応用心理学(社会心理学・教育心理学等)・臨床心理学(カウンセリング・精神保健等)の 3 つに分類し、教育系・医療系(看護師)・福祉系の学部、保健師養成の学部の授業科目数の分析を行った。

その結果、各大学間・学部間に、心理学・応用心理学・臨床心理学の科目数の格差が大きいことが明らかになった。これは、教員免許・看護師免許・社会福祉士資格など、国家資格取得中心のカリキュラムを組まなければならないというミッションからきているものと考えられる。

国立大学と私立大学においては、私立大学の方が、心理学関係の科目数は充実していることが明らかになった。これは私立大学が、認定心理士等の資格をとることが、学生募集の増加に繋がることを意識したカリキュラム構成にしていることと思われる。臨床心理技術職の国家資格化に当たっては、各大学・各学部での心理系科目数の格差が大きいことに留意し、取得科目内容及び単位数で、受験要件を考える必要がある。

A. 研究目的

心理学に関する専門的知識及び技術をもつ臨床心理技術者は、保健医療、福祉、教育その他の分野において、その役割が認識されてきている。このことを踏まえ、臨床心理技術者の実態およびニーズを早

急に把握し役割を明確化するとともに、その人材育成と質の向上のための方法を確立し、その業務が適正に運用されることで国民の心の健康の確保に寄与する研究とすることを目的とする。そのために、保健医療、福祉、教育その他の分野に

における臨床心理技術者として、必要なカリキュラムになっているか、基礎心理学・応用心理学・臨床心理学がカリキュラムの中にどの程度入っているのかを調査し、臨床心理技術者としてのカリキュラムが整備されているかを明らかにすることを目的とする。

## B. 研究方法

日本の大学の教育・福祉・医療(看護)の学部における心理学のカリキュラムについて調査し、臨床心理技術者養成のカリキュラムになっているかを調査することを目的として、悉皆調査で行った。インターネット上の各大学のHPで公開されているカリキュラムをシラバスから調査し、心理学の授業の有り様を分析した。悉皆調査のため、HPに記載されていない大学のシラバスは郵送法により取り寄せて、分析を行った。

また、保健師においては、各地方、2大学ずつ保健師養成を行っている大学(国立・私立1校ずつ)について調査分析を行った。さらに、参考のために、欧米・オーストラリアの大学のカリキュラム調査を3校行った。

(倫理面への配慮)

シラバスの分析の公開については、各大学の名前が出ないこと、パソコン上で統計をだすことをメール及び手紙にて各大学に了解を得て、調査を実施した。

### (1) 調査対象

調査は日本の国立・公立・私立の教育系・福祉系医療系(看護)の大学対象に悉皆調査でおこなった。調査可能であった大学は、表1のように、全学部820学

部のうち759学部で、92.6%である。その他は、心理学・教育などの学部名称ではないがシラバスなどから「人間科学部」「人間システムコース」など心理学を教えていると考えられる大学・学部である。

表1 調査対象校数・割合

	調査対象	全学部	調査数	調査割合
国立	教育系	73	72	98.60%
	福祉系	7	6	85.70%
	医療系	42	41	97.60%
	その他	-	-	-
公立	教育系	29	29	100%
	福祉系	15	15	100%
	医療系	41	41	100%
	その他	-	-	-
私立	教育系	322	300	93.2%
	福祉系	114	101	88.6%
	医療系	106	85	80.2%
	その他	71	69	97.2%
	計	820	759	92.60%

その他は、人間システムコースなどの心理系の学科等

追加調査として、下記の保健師養成の大学の調査を地方別抽出調査で行った。

保健師養成大学国立12校私立15校  
アメリカ1校 オーストラリア2校  
心理学部 計3校

## C. 研究結果

### (1) 心理学関係の単位数

表2は大学学部の心理学関係授業の平均コマ数である。

基礎心理は心理学・心理学特講・心理学統計等であり、応用心理は教育心理学・社会心理・産業心理・組織心理・健康心理等である。臨床心理は臨床心理査定・カウンセリング論等臨床心理業務に直接関係する授業である。その他は精神保健福祉援助技術各論・ソーシャルワーク論・精神看護学等の各専門領域の中で、

心理学に近い授業コマ数である。実習は教育実習や看護実習・福祉実習など各専門領域の実習は含まずに、臨床心理に関係のある実習のみである。

表 3 は各領域の心理学関係授業の平均コマ数である。

心理学関係の授業コマ数は、教育系が 16.8 コマ、福祉系が 20.4 コマ、医療系が 7.6 コマ、その他が 45.5 コマである。

教育系は、教職に就くために必要な心理学関係の授業があること、また、学校心理士などの資格をとることを前提としたカリキュラムを組んでいることが要因として考えられる。

福祉関係は、精神福祉士や社会福祉士などの学部卒での国家資格をとることを前提としたカリキュラム構成のために、心理学関係の授業のコマ数が多いものと考えられる。

医療関係は、看護師養成が主であり、医療関係の授業の必修が多く、心理学関係は少なくなるものと考えられる。

その他は私立のみで、人間科学部や人間発達コースなど、心理学を中心としたカリキュラム構成になっており、卒後資格として認定心理士がとれることを前提としたカリキュラム構成をとっている大学があるために、心理学関係のコマ数は多くなるものと考えられる。

表 4 は、心理学関係の授業コマ数の最大値であり、領域別では教育関係が多く、設置別では私立大学が圧倒的に多くなっている。その大学がどの資格取得をめざすカリキュラムを組むかによって大学間格差が生じている。表 5 は心理学関係の授業の最小値であるが、ほとんど 0 に近

い。

大学によって心理学関係のカリキュラムの差が大きいことが明らかになった。

#### D. 考察

今回の調査は、医療系・教育系・福祉系の各大学・各学部の心理学関係の授業のコマ数を悉皆調査で行ったが、大学間格差が大きいことが明らかになった。保健師養成の大学のカリキュラムにおいても、心理関係の授業の実施数の差は大きい。

研究成果の学術的意義についてだが、各大学各学部の心理学関連の授業コマ数を悉皆で調査した研究は、管見の限り、今回の調査が初めてであると考えられる。今後各資格とのカリキュラムの連関性を分析することに学術的意義があると言える。

研究成果の行政的意義について、臨床心理技術職の大学でのカリキュラムの悉皆調査は行われていない。今後、臨床心理技術者の国家資格化にあたっては、学部での心理学関係の科目の検討、単位取得数の詳細な検討が必要である。現行のカリキュラムでは、教育系・心理系・医療系の学部卒では、心理学・応用心理学・臨床心理学の基礎知識が不足していると考えられる。また、カリキュラムを再考するに当たっても、他資格との関係で、心理学関係の授業科目や実習科目を増やすことは厳しいものと考えられる。

国公立大学に比較して、私立大学の方が名目上・数量的には心理学の授業科目数は充実していると言える。

しかし、取得できる資格やカリキュラムの目標と内容との関連を精緻に分析す

るまでに至っていない。資格やカリキュラムの目標・内容との関連の分析が課題である。

アメリカ・オーストラリアの臨床心理学部 3 校のカリキュラムは、臨床心理学の中においても、学校臨床心理学など、特化したカリキュラムになっている。

## E. 結論

臨床心理技術職の国家資格において、関連分野学部出身者の受験資格を認めるに当たっては、教育・医療・福祉系の大学・学部の臨床心理学を含めた心理科目のカリキュラム構成の格差は大きい。心理学・応用心理学・臨床心理学のどの科目を何単位取得していることが条件となるのか、精緻な検討が必要である。

F. 健康危険情報 無

G. 研究発表 無

1. 論文発表 無

2. 学会発表 無

3. その他 無

H. 知的財産権の出願・登録状況  
無

研究協力者

九州大学大学院人間環境学府

実践臨床心理学専攻増田研究室大学院院生

**表2 大学学部の心理学関係授業の平均コマ数**

		基礎心理	応用心理	臨床心理	計	実習	その他	総計
国立	教育系	2.6	9.4	2.4	14.4	1	1	16.4
	福祉系	1.8	6	2.3	10.1	0	0	10.1
	医療系	1	1.1	1	3.1	0	0.9	4
	その他	-	-	-	-	-	-	-
公立	教育系	2.6	5.1	1.6	9.3	0.5	2.4	12.2
	福祉系	1.5	8.1	1.4	11	1	10	22
	医療系	1.3	2.8	0.8	4.9	1.2	4.1	10.2
	その他	-	-	-	-	-	-	-
私立	教育系	4	9.9	3	16.9	1.9	3.1	21.9
	福祉系	4.7	12.0	1.7	18.4	3.6	7	29
	医療系	1.1	2.6	1.4	5.1	1	2.4	8.5
	その他	9.2	24.1	6	39.3	2.6	3.6	45.5
全体	平均	2.98	8.11	2.16	13.25	1.28	3.45	31.23

**表3 国立・公立・私立大学別各領域の心理学関係の授業コマ数**

		基礎心理	応用心理	臨床心理	計	実習	その他	総計
国立	教育系	2.6	9.4	2.4	14.4	1	1	16.4
公立	教育系	2.6	5.1	1.6	9.3	0.5	2.4	12.2
私立	教育系	4	9.9	3	16.9	1.9	3.1	21.9
<b>教育系</b>	<b>平均</b>	<b>3.1</b>	<b>8.1</b>	<b>2.3</b>	<b>13.5</b>	<b>1.1</b>	<b>2.2</b>	<b>16.8</b>
国立	福祉系	1.8	6	2.3	10.1	0	0	10.1
公立	福祉系	1.5	8.1	1.4	11	1	10	22
私立	福祉系	4.7	12	1.7	18.4	3.6	7	29
<b>福祉系</b>	<b>平均</b>	<b>2.7</b>	<b>8.7</b>	<b>1.8</b>	<b>13.2</b>	<b>1.5</b>	<b>5.7</b>	<b>20.4</b>
国立	医療系	1	1.1	1	3.1	0	0.9	4
公立	医療系	1.3	2.8	0.8	4.9	1.2	4.1	10.2
私立	医療系	1.1	2.6	1.4	5.1	1	2.4	8.5
<b>医療系</b>	<b>平均</b>	<b>1.1</b>	<b>2.2</b>	<b>1.1</b>	<b>4.4</b>	<b>0.7</b>	<b>2.5</b>	<b>7.6</b>
国立	その他	-	-	-	-	-	-	-
公立	その他	-	-	-	-	-	-	-
私立	その他	9.2	24.1	6	39.3	2.6	3.6	45.5
<b>その他</b>	<b>平均</b>	<b>9.2</b>	<b>24.1</b>	<b>6</b>	<b>39.3</b>	<b>2.6</b>	<b>3.6</b>	<b>45.5</b>
<b>全体</b>	<b>平均</b>	<b>2.98</b>	<b>8.11</b>	<b>2.16</b>	<b>13.25</b>	<b>1.28</b>	<b>3.45</b>	<b>31.23</b>

**表4 国立・公立・私立大学別心理学関係最大値コマ数**

調査対象最大コマ数		基礎心理	応用心理	臨床心理	計	実習	その他	総計
国立	教育系	10	26	9	45	2	2	49
	福祉系	5	11	5	21	0	0	21
	医療系	2	2	2	6	0	2	8
	その他	-	-	-	-	-	-	-
公立	教育系	13	20	4	37	1	5	43
	福祉系	4	19	3	26	3	17	46
	医療系	3	7	1	11	4	10	25
	その他	-	-	-	-	-	-	-
私立	教育系	30	121	43	194	4	20	218
	福祉系	32	62	25	119	3	35	157
	医療系	2	23	6	31	1	10	42
	その他	42	85	35	162	14	17	193
	計	143	376	133	652	32	118	802

**表5 国立・公立・私立大学別心理学関係最小値コマ数**

調査対象最小コマ数		基礎心理	応用心理	臨床心理	計	実習	その他	総計
国立	教育系	0	1	0	1	0	0	1
	福祉系	0	2	0	2	0	0	2
	医療系	0	0	0	0	0	0	0
	その他	-	-	-	-	-	-	-
公立	教育系	0	0	0	0	0	0	0
	福祉系	0	3	0	3	0	0	3
	医療系	0	0	0	0	0	0	0
	その他	-	-	-	-	-	-	-
私立	教育系	0	0	0	0	0	0	0
	福祉系	0	0	0	0	0	0	0
	医療系	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	0	1	0	0	1
	計	1	6	0	7	0	0	7

**表6 保健師養成大学 心理学カリキュラム**

	基礎心理	応用心理	臨床心理	平均	実習	その他
国立大学12校	4.2	4.2	5.7	4.7	0.2	0.0
私立大学15校	4.3	2.8	3.3	3.5	0.4	0.0